

まちづくり Index

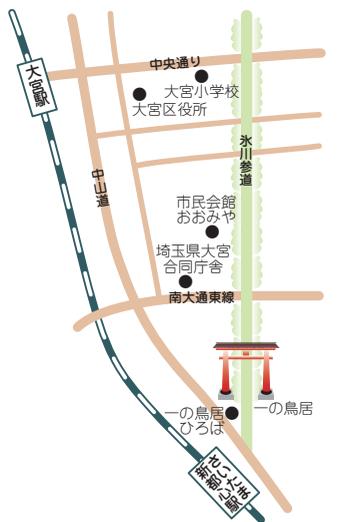
わがまちの緑の杜のトンネルを
ゆつくり歩いてみませんか？

～氷川参道の歩車分離の取り組み～



ケヤキ並木が美しい氷川参道は、大宮二十景のひとつ。氷川神社に向かう一方通行とし、歩道の整備工事を実施。車両が停められないよう、随所に車止めも設置されたことで、多くの人が安全に散歩を楽しめる場所となりました。

交通対策と樹木の保全で
緑豊かで安全な歩道に



武蔵国一の宮氷川神社の参道は、さいたま新都心駅すぐ近くの一の鳥居から続くケヤキ並木です。しかし、以前から違法駐車が多く、また、沿道の樹木の保全も必要だったことから平成14～21年にかけて、一の鳥居から中央通りの約1.1kmの区間で、歩道と車道の分離工事を実施。6mの車道幅を3.5mにし、石板敷き歩道を新設することで、安全で緑あふれる心地よい参道となりました。「緑と文化・歴史の環境軸」として、「大宮駅東口都市再生プラン」に位置づけられ、地域のまちづくりを進める上で大切な存在となっています。

参道の未来とまちづくり
のため多くの人が活動中



▲さいたま新都心から眺める大宮駅周辺の風景。まっすぐ神社に向かって延びる緑地帯(氷川参道)は、都市と自然をつなぐネットワークとして、まちづくりに活かされています。



▶工事前の氷川参道。歩道がなく、加えて違法駐車や交通渋滞が絶えず、歩行者にとって危険な状態でした。

都市と自然をつなぐ
緑のネットワーク

氷川神社の門前町として栄えてきた大宮は、今もさまざまな都市機能が集積する地域です。そして現在、さいたま市では、市の都心にふさわしい地域として再構築するため「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」の策定に、地元や専門家と一体的に取り組んでいます。

氷川の杜の保全活動もそのひとつです。かけがえない自然と歴史、都市が調和することで生まれる豊かな都市生活。それを守り、育て、継承していくような、快適なまちづくりを目指す活動が続けられています。ご家族や友人と、氷川参道をゆつくり散歩してみませんか？



▲「まちづくり推進協議会」によるシンポジウムの開催など、さまざまな視点からまちづくりの検討を行っています。



▲協議会の会員や一般市民など、120人あまりが参加して樹木調査を実施。合計約700本の樹木のデータは、今後の保全方策の貴重な基礎資料となります。

以前から活動をしていた「氷川参道を考える会」に、地域の自治会長や住民が参加し、平成7年に「氷川の杜つるおいのあるまちづくり推進協議会」が発足。氷川参道の未来と周辺のまちづくりを推進するため、行政とともに勉強会やワークショップ、交通量の調査を行うなど、さまざまな活動をしています。平成14年には、樹木一本一本について調査を開始。四季折々の参道の風情を楽しみながら、樹高や枝張りなどの測定や健康状態を観察しました。このデータは、今後の樹木の保全方策やまちづくりを考える上で、貴重な資料となっています。

■氷川参道について
都心整備部 氷川参道対策室
TEL 048-646-3122

■大宮駅周辺地域戦略ビジョンについて
都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所
TEL 048-646-3289